

農作業コツのコツ

【第11号】
令和元年6月29日
福光農業改良協議会
砺波農林振興センター南砺班
福光農業協同組合 営農部

水稻の生育は、早生品種で平年に比べて2日程度早く、中・晩生品種はほぼ平年並みとなっています。

- ①早生品種は「飽水管理」で水不足による葉色低下を防ぎましょう。ただし、色が濃いほ場については、当面「間断かん水」を継続しましょう。
- ②カメムシが平年より多く発生しているのので、畦畔等の草刈りを徹底しましょう。
- ③大豆の培土作業が遅れ気味となっています。培土は確実に2回行い、生育量の確保と雑草抑制を図りましょう。

<水稻の生育状況>

(6/25: 福光農業改良協議会 良質米実証田生育調査結果)

| 品種名 | 田植・播種日 | | 草丈 (cm) | | 株当茎数(本) | | 葉齢 (葉) | | 葉色 | | 幼穂形成期予想 (幼穂長2mm) | |
|---------|--------|------|---------|-------|---------|-------|--------|-------|-----|------|------------------|-------|
| | R1 | 平年 | R1 | 平年 | R1 | 平年 | R1 | 平年 | R1 | 平年 | R1 | 平年 |
| とみちから | 5/1 | 5/4 | 57.4 | 57.7 | 28.9 | 25.0 | 11.5 | 10.9 | 4.2 | 4.3 | 6/23 | 6/25 |
| 五百万石 | 5/2 | 5/3 | 53.7 | 51.6 | 21.9 | 20.0 | 12.3 | 11.6 | 4.4 | 4.3 | 6/25 | 6/27 |
| コシヒカリ | 5/13 | 5/13 | 45.6 | 48.5 | 26.7 | 22.7 | 10.4 | 10.3 | 4.2 | 4.2 | — | 7/11 |
| てんこもり | 5/9 | 5/8 | 39.6 | 42.4 | 38.1 | 35.4 | 10.9 | 11.0 | 4.2 | 4.2 | — | 7/13 |
| 密苗コシヒカリ | 5/12 | 5/7* | 44.6 | 46.9* | 28.8 | 30.8* | 10.3 | 10.8* | 4.3 | 4.3* | — | 7/10* |

調査筆数: とみちから3筆 五百万石5筆 コシヒカリ3筆 てんこもり3筆 密苗コシヒカリ2筆 密苗てんこもり2筆
*密苗コシヒカリ、鉄粉直播てんこもりの平年値の欄には近年値、密苗てんこもりの平年値の欄には昨年値を記入

1 「とみちから」の穂肥施用

①肥効調節 (一発) 体系 (基肥: 「LPs とみちから専用」) の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。
- ・ただし、幼穂形成期 (6月23日頃) 以降、葉色4.2を下回ったら、すぐに追肥3号を10a当たり10kg施用しましょう。

②分施肥体系 (基肥: 基肥555) の場合

| 使用する肥料 | 追肥3号 | | |
|-----------|----------------|----------------|------------|
| | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
| 回数 | 1回目 | 2回目 | 3回目 |
| 施用時期 | 幼穂長1mm時(6/21頃) | 1回目の7日後(6/28頃) | 2回目の7~10日後 |
| 10a当たり施用量 | 10kg | 15kg | 15kg |

2 「五百万石」の穂肥施用

①肥効調節 (一発) 体系 (基肥: LPs五百万石専用) の場合

- ・原則、穂肥は施用しない。

②分施肥体系 (基肥: 基肥555) の場合

| 使用する肥料 | 追肥3号 | |
|-----------|-------------------------|---------|
| | 1回目 (6月30日頃) | 2回目 |
| 回数 | 1回目 (6月30日頃) | 2回目 |
| 施用時期 | 幼穂長10mm時 葉色: 3.8~4.0 | 1回目の7日後 |
| 10a当たり施用量 | 13kg | 15kg |

※圃場によって幼穂長に差があるので、必ず幼穂長を確認してから追肥しましょう。

※葉色が濃い、茎数が多い、大豆跡田などは、施用時期を遅らせ、施肥量を減らすようにしましょう。

3 中生・晩生・直播の管理

- ・平年に比べて茎数が多く、葉色がやや濃いほ場が見られます。
- ・過剰籾数を防ぐため、幼穂形成期まで落水期間が長めの間断かん水を実施しましょう。
- ・幼穂形成期頃までに足跡の深さが3cm程度となるようにしましょう。
- ・雑草が残っている圃場が散見されます。残草がある場合は、雑草の種類や葉齢を確認し、散布時期に注意して除草剤を選び、散布しましょう。
(「営農とくらし」P. 40~47を参照してください)

斑点米カメムシ類の発生を減らすため、畦畔など雑草地の草刈りを徹底しましょう。

用排水路での転落事故が多発しています。事故防止に努めましょう！

4 草刈りの徹底 ～カメムシ類が平年より多く発生中～

<カメムシ発生状況>

| | R1 | 平年 |
|-------|--------------|-------|
| 発生地点率 | 81.8% | 79.2% |
| 平均頭数 | 8.5頭 | 6.3頭 |



6/25 雑草地におけるカメムシ類生息密度調査（調査地点数：11）

左図：アカゲホリミドリカスミカ
右図：アサジカスミカ

- ・斑点米カメムシ類が平年より多く発生しております。カメムシ類の発生を抑制し、斑点米の発生を低減させるため、草刈り運動期間中に水田周辺の畦畔や雑種地での草刈りを徹底しましょう。

一斉草刈り日 7月6日（土）7日（日）（7月1日（月）～10日（水） 草刈り運動期間）

5 病害虫防除

- ・葉いもち、紋枯病の病斑がみられたら、下表に準じ防除しましょう。
- ・紋枯病について、前年発生が多かったほ場や早生品種及び「てんこもり」のほ場では特に注意しましょう。（詳しくは、「営農とくらし」37～39ページ参照）

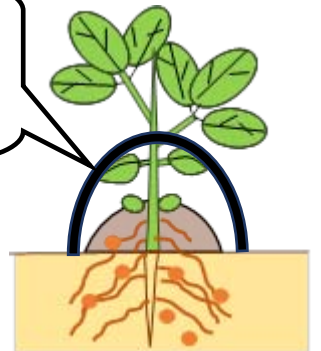
| 病害虫 | 防除薬剤名 | 防除時期 | 使用時期 | 使用回数 | 10a 当たり散布量 |
|------|------------|---------------------|----------|------|-----------------|
| いもち病 | ブラシン粉剤 DL | 病斑を見つけたら直ちに | 収穫7日前まで | 2回以内 | 3～4kg |
| | ブラシンフロアブル | | | | 60～150ℓ（1,000倍） |
| 紋枯病 | バリダシン粉剤 DL | 穂ばらみ期（幼穂形成期から10日後頃） | 収穫14日前まで | 5回以内 | 4kg |
| | バリダシン液剤 5 | | | | 60～150ℓ（1,000倍） |

6 大豆の管理

（1）培土作業の実施

- ・必ず培土を2回行いましょう。
- ・5月30日播種の場合、2回目の培土の時期は、本葉4～5葉期（7月5日頃）となります。

2回目培土は、初生葉が埋まる程度のかまぼこ型形状となるよう培土機を調整しましょう！



（2）雑草防除

- ・培土が出来ずに雑草が多発しているほ場があります。培土作業が遅れる場合は、使用できる除草剤を早く散布しましょう。
- ・培土後、雑草が残った場合、全面散布が可能な除草剤を使う時は、早めに散布しましょう。

| 対象雑草 | 除草剤名 | 使用時期 | 使用回数 | 10a 当たり散布量 |
|----------------|-----------|---|------|----------------------------|
| イネ科雑草 | ポルトフロアブル | イネ科雑草3～10葉期 ただし、 <u>収穫30日前まで</u> | 1回 | 薬液 200～300ml ／希釈水量 100ℓ |
| 畑地1年雑草（イネ科を除く） | 大豆バサグラン液剤 | 大豆2葉期～開花前 ただし、 <u>収穫45日前まで</u> ※高温が続く場合や湿害等で生育不良の場合は使用を避ける。 | 1回 | 薬液 100～150ml ／希釈水量 100ℓ |